

暮らし、定住、未来創造



新庄市役所 ☎22-2111
ファクス 22-0989

新庄市ホームページ 検索
<http://www.city.shinjo.yamagata.jp>
メール info@city.shinjo.yamagata.jp

広報 しんじょう

2013 SHINJO PUBLIC RELATIONS NO.671



Special Edition

特集

農 の 魅 力

農業のスペシャリストに聞く





表紙の写真

新庄の牛 見たことありますか？

市内昭和地区で酪農に取り組む田宮さん。農業という稲作をイメージするかも知れませんが、市内では乳牛や肉牛も飼育されていますし、ネギやニラ、山菜、キノコ類、切り花、果樹栽培など多彩な農業が営まれています。最近では、農業の6次産業化を目指し、農産加工に取り組む人も増えました。知っているようで知らない新庄の農業ですが、農家の皆さんは元気に頑張っています！



広報
しんじょう11
2013 SHINJO PUBLIC RELATIONS NO.671

目次◎CONTENTS

特集◎農の魅力

元気です！新庄の農業……………4

もがみこういきって何？……………8

行政評価を実施しています……………10

国民健康保険事業の安定的な運営に向けて……………12

いきいき仕事人！……………13

まちとび……………14

子育て+教育チャンネル……………16

市民活Do!／今月の本……………17

お知らせ……………18

温故知新庄!？……………20

市長コラム

新庄市長 山尾順紀



東北市長会と奇跡の一本松

10月17～18日、岩手県花巻市を会場に第163回東北市長会総会が開催され、当市からは「旧公的補償金免除繰上償還制度の復活と要件の緩和」について提案説明しました。この制度は、市などが5%台以上の金利で借り入れた地方債(借金)について、補償金なしで繰上償還できるもので、平成24年まで実施されていました。これを4%台も適用のうえ、復活してほしいという提案です。提案は全員一致で承認され、東北市長会の総意として国の関係機関に届けられます。

せっかく岩手に来たので、帰りに大船渡市と陸前高田市を回ってきました。大船渡市は、港町なので水産関係の建物の工事が目に付きました。陸前高田市は旧市街地の被災建物がようやく解体され、いよいよこれからという感じです。海岸から離れたところにプレハブモール(仮設商店街)が出現しており、そこで「鶴亀寿司」なる看板を見つけました。入ってみると、簞袋の裏に「奇跡の一本松」の写真を貼っていました。陸前高田市の復興の象徴なのだなと思うと同時に、お客様に身近に感じてほしいという思いが伝わって来ました。店主は、5年間はここでがんばって、その後整地されたところで再開できればとおっしゃっていました。機会を見つけてまたお邪魔したいと話し、帰途につきました。一日も早い復興をお祈りします。



9

月末現在の新庄人

38242

(38,598人)

女 20,113人 (20,317人)
男 18,129人 (18,281人)



9月
の異動

出生 31人 (22人)
死亡 37人 (43人)
転入 91人 (110人)
転出 70人 (73人)

世帯数 13,740世帯 (13,744世帯)

※住民基本台帳法の改正で外国人を含む人口集計になりました。()は1年前の日本人+外国人の数です。

稲作

山菜

果樹

農産加工

特集◎農業のスペシャリストに聞く

農の魅力

畜産

きのこ

花

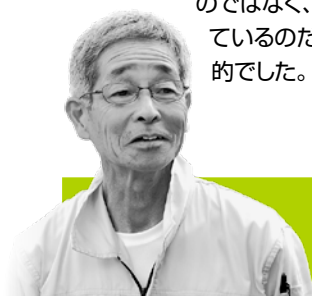
野菜

元気です！ 新庄の農業

稲作◎ 指村 貞芳さん (黒沢)



「農業大学校在籍中にササニシキの研究に取り組んだことが、今も大きく影響している」という指村さん。気温が低めの新庄で、寒さに弱いササニシキに取り組むことには、親からも反対されたそうですが、一途に稲作、特にササニシキにこだわりを持ち続けています。天候に左右されず、安定した収量を得るには、「化学肥料を減らし、植物としての稲本来の力を引き出すような栽培環境を作ること」と考えているそうです。また、「収穫までは毎日稲の顔を見ていないと。そして秋、稲が頭を垂れている姿をみるのは格別の思いです」とまるで大切な人を思うように語る指村さん。「自分たちは米を作っているのではなく、米を作ってくれる稲を育てているのだ」という言葉もとても印象的でした。



稲作◎ 高山 宗悦さん (角沢)

高山さんは、稲作中心の農業をずっと続けています。「農家の長男なので家業を継いだ。当時は、中学校で農家の子向けの研修授業があるなど、農家の子は家を継ぐというルールがあった」。機械化で作業が楽になった農業ですが、天候に左右されやすい不安定な部分は変わりません。それでも



「丈夫な稲が育つ土壌を作り、天候に左右されず、食味が良い米を作りたい」という思いで日々取り組んでいるそうです。「農業は、毎年違う気候、状況の中で、安定した品質を維持する必要がある。その意味では何歳になっても勉強が必要」と話す高山さんは、「75歳までは現役」を目標にしています。機械の更新もそれを見据えて計画的にやっているとのこと。目標とその実現に向けた計画。ぜひ見習いたいものです。

米の消費量低下や後継者不足など、農業を取り巻く状況が昔と大きく変わった現在、これからの農業はどうあるべきなのか、さまざまな検討が進められています。こうした厳しい状況の中ですが、当市には信念を持って農業を続けている方々がたくさんいます。こうした「農業のスペシャリスト」の皆さんにお話を伺いました。





農業のスペシャリストに聞く

の魅力

魅力ややりがいが無ければ農業を志す人は減る一方です。当市の農業を、今後とも主要な産業として維持・発展させていくには、生産性と所得の向上を図ることが不可欠です。市や関係機関などにより今年五月に見直

■これからの農業は？

しされた「新庄農業振興地域整備計画」では、その目的を達成するため、水稻を中心にしながらも、立地条件に応じ、畜産や園芸作物などの複合経営をさらに進めるべきとしています。全市的にこれを進めることで安定的な食料供給基地として産地形成ができれば、他産地との競争力

も強まります。また、農地の改良や施設整備などの農業生産基盤の強化、人・農地プランに基づく新規就農者の支援、そして、大規模農業経営が可能な農家や組織への農地の集積を一層進め、生産コストを低減し、かつ収益性を高めたいと考えています。また、地域のリーダー役としての認定農

業者や、農業生産組織などの中心となる経営体を育成し、農業経営の効率化と安定化を目指していきます。

■農協の取り組み

農協（農業協同組合／JA）とは、一九四七年に公布された農業協同組合法に基づき組織で、農家が円滑に

ネギ◎三原信継さん（中川原）



もともと大工だった三原さん。10年前に、家族みんなでできるところに魅力を感じて農業を始めたそうです。実家は稲作農家でしたが、その収益性や通年で取り組める点を考え、ネギとアスパラ（促成栽培）に取り組みました。「知識がなくて何でも人に聞いた」という三原さんですが、勉強や努力は惜しまずにやったとのこと。そのおかげで今では各地から視察が来るほどの実績を上げています。農業の魅力を探ねると、「自分で考え、判断しながら育てた作物を、たくさんの人に届け、食べて評価してもらえると」とのこと。

今後は、周年農業の確立のため、アスパラ促成栽培にも力を注いでいきたいとのことですが、「ネギについても規模拡大に不可欠な人手を確保し、5年後には、3,000万円の売上げを目指したい」と語ってくれました。



山菜促成◎星川吉和さん（仁田山）

冬場に収入がなければ出稼ぎなどに行く必要も出てきます。星川さんは、冬場でも農業収入を確保したいと、タラノメ生産を始めたそうです。「作業が比較的容易なのに収益性が高いところが魅力」と語る一方で、タラノメは非常に根腐れしやすいため、「水はけが良い畑に植えるよう、場所選びは吟味します。連作による障害がでることもあり、作付面積をなかなか増やせないところが悩みです」。



タラノメの畑

最近の農業については、「やる気がなければ続けられない職業。昔のように子が跡を継ぐことも少なくなかった。しかし、やる気を持って取り組んでいる若い人たちもいるので頑張ってほしい」とのこと。また、「自分で販路を見つけたり、市場と信頼関係を築いて、価格を自分で決めることができればと思っている。タラノメの売上げ200万円を目指したい」と抱負も語ってくれました。



農産加工◎小野みち子さん（升形）

「冬の間の収入増や自分の農産物に付加価値をつけたかった」と、十年ほど前から産直販売などにも取り組んでいる小野さん。消費者との会話を生産に生かし、育てた野菜を無駄なく加工品にしているそうです。その一方で、慣れ親しんだ自分好みの味が受け取れないことがあったり、味付けはもちろん、衛生面に十二分に気をを使う必要があることなど苦労することもあります。それでも、「各地へ視察に行くのが楽しい」と語る小野さんからは、研究や挑戦を続けていく意欲がとても感じられました。今年、自宅脇にあった牛舎を改築し、加工所を整備しました。作る野菜も、加工を念頭において、新たな作物も植えているそうです。「定年が無いことが農業の魅力かな」と、いきいきと話してくれました。



酪農◎田宮 徹さん（昭和）



「家業を継ぐのは悪くないと思っていた」と語る田宮さん。家族とともに80頭を超える乳牛を飼っています。搾乳は毎朝晩。朝は3時半に起床、作業は午前八時ころまで続きます。夕方と同じ作業を四時間。これが毎日続きますが、酪農ヘルパー制度を利用して、月1回は休み、お子さんたちと過ごすそうです。餌代が上がるのに牛乳の価格が上がらなったり、牛乳の品質を維持できるよう管理に気を使うなど、経営には気を抜けませんが、良いものを消費者に届けられるよう頑張っています。

「今60頭いる搾乳牛を5年後には100頭に増やしたい。それに、所有している牛舎周辺の土地を利用して放牧などができれば。それを、通りかかった子どもにぜひ見てもらいたい。喜ぶと思うし、大人も癒されるのでは?」と今後の抱負を語ってくれました。



機械による搾乳の様子

和牛繁殖◎沼沢正和さん（長坂）



沼沢さんの実家は昭和。婿に入った家も農家で、仕事は農業しか考えられなかったそうです。「自分の子牛を買ってくれた人が何年か後に、『あの牛良かったよ』と喜ばれると本当にうれしい」と魅力を語ります。施設や機械の整備など、資金面の苦労は大きく、補助事業も有効に活用しているとお話。日ごろの作業内容を尋ねると、分娩や初乳などの言葉が、まるで人間の話のようで印象的でした。「発情や分娩の時期を推測するため、また体調把握のため、こまめに

観察している。体調が悪化する前に回復できれば獣医にかかる必要もなくなる」。

農業の魅力を探ねると「自分で考え、行動したことが結果につながる。また、ある程度時間の融通が利き、自分のペースで仕事できること」と答えてくれました。

※和牛繁殖＝肉用子牛を産ませ、子牛のうちに売却する。

ニラ◎今田栄二さん（冷水沢）



「稲作に加えていろいろなことをやったが、妻が会社勤めをやめたのを機会に、妻の実家で取り組んでいたニラを始めた。定期収入が魅力だし、家族皆で取り組むことで、家族の『和』も強まった」今では、ニラ以外のことにあまり時間を使えず大変ですが、クレームが無いよう、また除草剤の使用を極力控えるなど、品質にこだわっています。「先を読むのがとても難しい最近の農業情勢だが、農業が好きだから、今後も身の丈にあった農業を続けていきたい。今は家族経営なので、人を雇わないといけないが、売上400万円を目指して面積を増やしたい」と豊富を語ってくれました。ニラと言えば鍋や汁物を想像するかもしれませんが、今田さんのおススメは、「ネギのかわりにニラを使った『ニラチャーハン』や『ニラ納豆』。皆さんぜひお試しください。



営農し、生活できることなどを目的に組織されています。市内には市北部を管轄するJA新庄もがみ（旧萩野、昭和農協と舟形町、最上町農協が合併した農協）と市南部を管轄するJA新庄市の二つの農協があり、それぞれ地域性を活かしながら事業

を展開しています。各農協は、農協の活動方針を「営農計画」として毎年の総会で決定し、その方針に基づいた活動を行います。農協も交えて策定されている前述の「新庄農業振興地域整備計画」をより具体的に地域性を反映させた活

動を行うのです。■営農計画の内容 両農協が今年六月に決定した営農計画では、主に次のような方針が示されています。最も生産者が多い米に関しては、

JAへの出荷を推進しながら、ブランド化を目指し、他産地との競争力を高めていくことにしています。ネギやニラ、山菜、そして花などの園芸部門では、生産の拡大と新たな生産者の育成に力を入れます。和牛（肉牛）の繁殖（子牛を産ませ



農業のスペシャリストに聞く

の魅力

る」と肥育(肉牛の育成)、それに酪農が主である畜産では、飼育技術の向上や、自給飼料確保などによる経費圧縮などに触れています。

さらに、農産物の安全安心とトレーサビリティ(追跡可能性)の確保にも適切な栽培履歴管理を進めな

がら、十分な配慮をしていきます。このことは、全国的な課題ですが、当市内でもしつかり取り組まれています。

■元氣な農家を応援

厳しい状況の中でも、信念をもって取り組んでいる新庄の農業者。市も、

農協をはじめとする関係機関や団体とともに、できる限りの応援をしています。

農業に携わる人以外には、農業といわれてもなじみが薄いかもしれません。しかし、当市でも米はもちろん、畜産、野菜花、果樹、きのこなど、

いろいろな部門で、農家の皆さんが頑張っています。

地域に根ざす産業のひとつとして、新庄の農業をもっと知ってみませんか。市報でも、随時紹介していきます。

◎農林課農林振興室 ☎内線261



トルコギキョウ

切り花◎赤間初男さん(昭和)



「減反制度で作付けできない農地を何とかしたい。当時、栽培方法などが確立されていなかった花の生産にはチャンスがあると思った」 こうして赤間さんたち数名が、花栽培に取り組んだのが20年前。今や新庄は、トルコギキョウなどの花の産地として、首都圏の市場でも高い評価を得ています。「産地を確立するには、長期安定した出荷が必要。取り組む人を増やし、品質も向上させなければならず大変だったが、やって良かった」と赤間さん。「好きなものを植えて、しかもお金になる。これが農業の魅力。また、冬でもビニールハウスで花が咲いている風景には感動するなあ」。

仲間とともに、品質保証やトレーサビリティなどを目的とした花の総合的な認証(MPS)を取得するなど、今も前進を続けています。5年後の目標を尋ねると「売上げ5,000万円を目指したい」と力強く語ってくれました。



新庄農業振興地域整備計画では、地域特性を活かした水稲との複合経営、農産物の高付加価値化などを進めることで、次のような農業経営を目標にしています(一部紹介します)。

■個人経営

生産する作物など(栽培面積・飼養頭数など)	目標総所得
水稲(7ha)+加工用米(1ha)+大豆(5ha)	434.4万円
水稲(3.1ha)+ネギ(0.4ha)+ウレイ(0.3ha)+その他	406.6万円
水稲(2ha)+ニラ(0.4ha)+ネギ(0.4ha)+その他	415.2万円
水稲(3.1ha)+トルコギキョウ(0.2ha)+その他	405.4万円
水稲(4ha)+ナメコ(2万玉)+ニラ(0.2ha)+その他	401.8万円
水稲(4ha)+飼料作物(2.7ha)+繁殖牛(20頭)	408.4万円
水稲(3ha)+飼料作物(2ha)+乳用牛(20頭)	459.9万円
水稲(4.6ha)+サクランボ(0.2ha)+タラノメ(0.3ha)+その他	435.8万円

■組織経営

生産する作物など(栽培面積など)	目標総所得
水稲(30ha)+加工用米(5ha)+飼料用米(13ha)+作業委託(5ha)	2,343万円

ういきって何？

広域交流事業

沖縄中部広域圏児童交流

昭和63年に沖縄県の沖縄市を中心とした「中部広域圏」と広域圏同士による姉妹盟約を締結しました。以降、毎年9月には最上圏域の児童を沖縄に派遣し、1月は沖縄の児童を最上に受け入れる相互交流を行ってきました。また、両圏域の産業まつりへの出店など物産の交流事業も行っています。今年は交流25周年の記念事業として、宜野湾市から沖縄を代表する伝統芸能である「エイサー」を新庄まつりに招聘し披露していただきました。

※中部広域圏は、沖縄県の中部地方にある沖縄市・うるま市・宜野湾市・嘉手納町・北谷町など3市3町3村で構成されています。



最上広域市町村圏事務組合とは、最上8市町村(新庄市・金山町・最上町・舟形町・真室川町・大蔵村・鮭川村・戸沢村)で構成されている一部事務組合で、昭和45年11月に設立されました。「ごみ」や「し尿」処理、消防及び救急業務、教育センターの運営、へい獣処理施設の管理、広域交流拠点施設(ゆめりあ)の管理運営、最上広域市町村圏振興整備計画の事務などを行っています。

今月は、最上広域がどのようなことを担っているのか紹介します。



消防事業

安心安全な社会をめざして

最上広域の消防は、新庄市に消防本部・本署を置き、最上町に東支署、金山町に金山支署、真室川町に北支署、戸沢村に西支署、舟形町に南支署を設置し、本署・支署五の体制となっています。

本署には、ポンプ車(二台)や救急車(二台)をはじめ、三十メートルまで伸びる「はしご車」や災害時に活躍する「救助工作車」や「水槽車」などが配備されています。各支署にもポンプ車と救急車が各一台配備されて災害の発生や救急の要請に備えています。

また、火災や救急出動以外にも、応急処置知識の普及のため指導者の派遣や火災予防のための査察、火災現場の原因調査などを行っています。

住民の安全安心の要となる支署の建設については、平成十三年度に東支署、平成二十二年に舟形分署と大蔵分署を統合した南支署、そして平成二十四年度に北支署を建設しました。来年度は、金山支署、平成二十八年度に西支署の建替えを予定しています。消防活動の現場では、使用する機材の進歩や救助消火方法などの変化に伴い、高度な知識と豊富な経験が求められます。そのため、日々の訓練を重ね業務遂行に努力しています。

消防テレホンサービスがつながりやすくなりました。

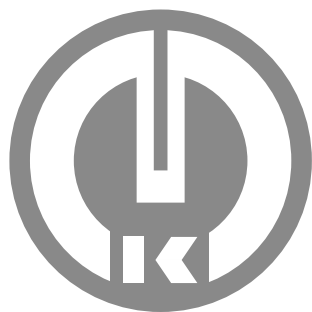
ご利用は **018-099-2345** まで

平成24年度 決算

最上広域市町村圏事務組合議会十月定例会で、平成二十四年度決算が承認されました。一般会計歳入総額三十四億五千七百万円(前年度比一億四千八百六十五万円の減)、同歳出総額三十三億八千九百二十九万(前年度比一億三千九百九十八万円の減)となっています。

歳出減の主な要因は、公債費(ゴミ処理施設「リサイクルプラザ」が「み」の建設時借入に係る償還金など)が一億八千九百九十九万円の減となり、消防費(団塊世代の大量退職などに伴う人件費等の減)も二千三百四万円減になったことです。

一方、衛生費では、し尿処理施設「最上衛生事業所」の閉鎖に伴い三千四百七十六万円減額されましたが、維持補修費等の増により、ごみ焼却施設「エコプラザがみ」は二千七百七十九万円、資源リサイクル施設「リサイクルプラザがみ」では四千四百九十二万円の増となりました。(詳しくは左頁の図参照)



もがみこ

最上広域市町村圏事務組合



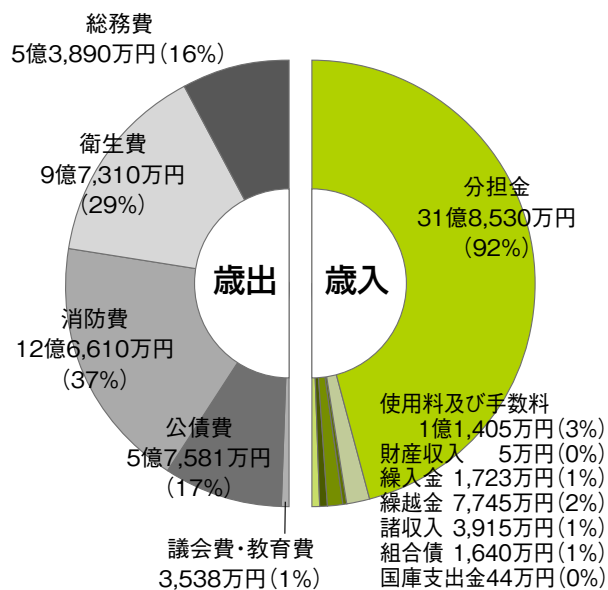
衛生事業

環境にやさしい社会にむけて

舟形町にある「リサイクルプラザもがみ」では、「燃えないごみ」の処理をおこなっています。搬入されたごみの四十％は、破碎選別を経て、再資源として利用されます。リサイクルできないごみは、同じ敷地内にある最終処分場で埋立処分されます。

鮭川村にある「エコプラザもがみ」では、最上管内の「燃やせるごみ」の焼却をおこなっています。一日に九十トンのごみの焼却が可能です。平成十五年の稼働以来、二十四時間、三六五日稼働しています。搬入されたごみは、大型のごみクレーンで焼却炉に投入されます。焼却炉は九百度以上の高温になっているので、ダイオキシンなど有害物質の発生を抑制して完全燃焼させることができます。また、焼却する際に発生する熱エネルギーを融雪に有効利用しています。

新庄市本合海にある「もがみクリーンセンター」では、し尿の処理をおこなっています。集められたし尿は微生物の力で分解され、さらに高度な処理を加えてクリーンな水として放流されます。現在、新庄・最上のゴミは増加傾向にあり、各施設の負担も大きくなっています。一人一人のごみ減量の取り組みをお願いします。



一般会計歳出
33億8,929万円

一般会計歳入
34億5,007万円

分担金の内訳

(単位: 万円)

区分	24年度決算	構成比(%)	対前年増減
新庄市	118,765	37.3	309
金山町	22,819	7.2	468
最上町	33,396	10.5	△ 1,078
舟形町	18,952	5.9	△ 600
真室川町	29,452	9.2	△ 2,851
大蔵村	13,578	4.3	△ 609
鮭川村	15,778	5.0	111
戸沢村	19,457	6.1	△ 812
交付税措置分	46,333	14.5	△ 6,508
計	318,530	100	△ 11,570

教育研究センター

新庄小学校わきの、屋上に青い円形ドームのある建物が教育研究センターです。センターでは、管内小中学校の先生向けに、理科研修の講座を行い、授業を支援する活動を行っています。理科の授業で勉強したことは、もしかすると先生たちがセンターで研修したことが使われているかもしれません。

各小学校に、出前授業として「わくわく科学教室」(平成24年度のべ18校)というダイナミックで楽しい実験ショーを行っているほか、年3回の「おもしろ科学体験」(児童300名)では楽しいものづくり体験も行っています。

またプラネタリウムの一般公開を年8回行っています。星空を分かりやすく解説したり、楽しいライブリーなども上映しています。

毎週土曜日には、地区の小学生を対象に「発明クラブ」を開催するなど、そのほかにも、さまざまな活動を通して、最上の子どもの科学への興味・関心を高めるための取り組みを行っています。



実施しています



事務事業評価と市民評価

市では、行政活動を効率的・効果的に進めるため、行政評価を実施しています。

評価は昨年度(平成24年度)に実施した事務事業についての内部評価と、より一層市民の意見を取り入れたものとするために実施した外部評価(市民評価)で行ってます。

まず、この行政評価とはどのようなもので、どのように行政運営に活用していくのか、市行政評価アドバイザー東北公益文科大学教授和田明子先生に解説いただきました。

新庄市行政評価アドバイザー
東北公益文化大学教授
和田明子氏



■行政評価とは？

行政活動の目的を明確にしたうえで、その成果を数値化して評価し、PDCAマネジメントサイクル(行政評価システムイメージ図)によって、行政の意思決定から改善にいたる経緯を明らかにしながら客観的に評価や分析を行うものです。

■結果をどのように活用するのか

新庄市では、まちづくりの指針として「新庄市まちづくり総合計画」を策定しています。この計画はイメージ図の円錐のように、「基本構想(政策)」「基本計画(施策)」「実施計画(事務事業)」に分かれていて、それぞれ目的と手段という関係になっています。

この施策と事務事業を対象とし、それぞれの目的達成度を把握しながら、効果的に総合計画を推進していくために活用しています。

■事務事業評価の目的とは

事務事業について、「何を対象に」「どのような手段で」「どのような状態にしたのか」を明らかにし、その事業の活動量、成果、投入資源を分析し、課題に応じた改善方法を検討することで、より市民ニーズに

対応した効率的な行政サービスを実現することを目的としています。

■事務事業評価と施策評価の関係

前段で説明したとおり、基本構想である政策と、基本計画である施策、実施計画である事務事業は、それぞれ目的と手段という関係になっています。

この手段をPDCAマネジメントサイクルを用いて改善することで、上位にある目的を効率的に推進していくことができます。その結果、総合計画全体を推進していくことに繋がっていくのです。

■最後に

行政に限ったことではありませんが、内部評価だけでは甘くなりがちです。それを市民の目線で見直そうが市民評価です。地方分権の進んだ今、がんばっている地域とそうでない地域との差は大きくなりますので、市民一人一人が行政に関心を持ち、より良いまちづくりに参加してほしいと思います。

◎詳しくは、総合政策課企画政策室 ☎内線216

※施策評価の結果は、広報しんじょう三月号でお知らせします。

行政評価を

平成24年度事務事業 評価結果

414の事務事業のうち、市の裁量で実施している独自事業である267の「評価事業」について、その課題に応じた改善策を検討し今後の方向性を示しました。

今後の方向性		
現行	168事業	事業の対象や内容などを変更せずに現行のまま継続すべき事業
拡大	75事業	事業費や人員など事業規模を拡大して継続すべき事業
縮小	2事業	事業費や人員など事業規模を縮小して継続すべき事業
改善	17事業	事業の対象や内容などを見直し、成果の向上やコスト削減を行うべき事業
統合	3事業	他の事業と目的などが類似しているため統合すべき事業
休止	1事業	周期的実施の事業などで翌年度は一時的に休止する事業
終了	1事業	事業の目的を達成したため終了した事業

※評価結果は、事業の見直しや予算編成など財政運営、総合計画の進行管理に活用しています。

詳しい結果は市ホームページに掲載しているほか、市役所などで閲覧できます。

行政評価システム

(イメージ図)

Action
改善

Check

内部評価	事務事業評価	施策評価
外部評価	市民評価	

市民評価も実施しています

平成25年度は8事業の評価を実施

市民評価とは、幅広い分野から選出された市民8名を市民評価委員とし、市が行う行政活動について、市民目線からの評価を取り入れることで、より一層市民に寄り添った行政運営を目指していく事を目的としています。

今年度は評価対象となった8分野から、市民評価委員が選定した事業について、和田明子氏が座長となって評価を行いました。

市民評価委員のコメント

今まで市政に意見を言えるなんて思いもありませんでした。市民評価では、委員一人が一つずつ事業を選定して、全員で評価をするので、自分の関心以外の事業の勉強になりましたし、自分の生活に深く関わっているのに今まで気づかなかったところにも気づかせてくれました。市民評価委員になったお陰で行政に関心を持つことができました。より活気ある新庄、住みやすい新庄となるための参考にしていただけだと思います。

市民評価委員 **小野広美氏**(小泉)



▲8月21日(水)に行った市民評価会議の様子

国民健康保険事業の 安定的な運営に向けて

■国保事業の予算の仕組み

国民健康保険事業は加入している皆さんの国民健康保険税と、国や県、市からの補助金などを財源に運営されています。具体的には、支出が見込まれる額（歳出見込額）を積算し、それに見合った収入（歳入）を確保するという形をとっています。

歳入確保にあたっては、国や県などから交付される金額を算定し、すでに把握している歳出見込額と照らし合わせ、不足する分を国民健康保険税として加入者から納付していただく形となっています。

■国保事業の現状

当市では、昨年度、税率改正を行いました。昨年度の財政状況は九月号でお知らせしましたが、税率改正で税収が伸びたこと、そして、医療機関などに支払う金額（保険給付費）の伸びが前年度に比べて小さ

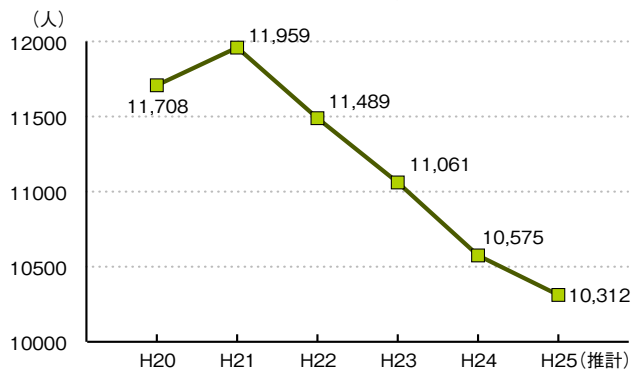
かったことから黒字決算となりました。しかしながら、前年度からの繰越金があれば赤字だったことに加えて、今年度は保険給付費が大きく伸びていることを考えると、今年度は、昨年度よりも厳しい現状といえます。

■厳しい状況の要因は？

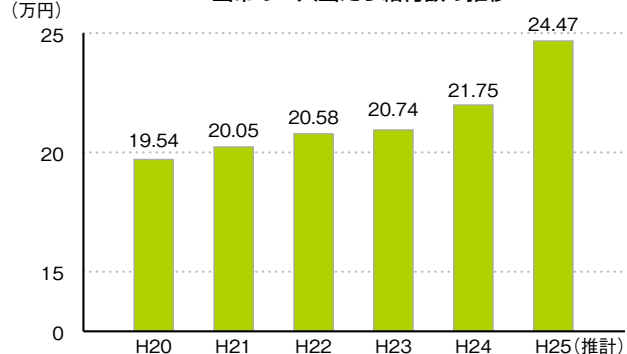
全国的に国保事業は厳しい運営状況ですが、その要因は、高齢化の進展や生活習慣病患者の増加、医療技術の高度化などによる、いわゆる医療費の伸びが大きいとされています。当市でも、加入者（被保険者）が減少しているにもかかわらず一人あたりの医療費は伸び、結果として保険給付費（国保事業の予算から医療機関などに支払う金額）は増えるという傾向にあります。

また、税収に大きな伸びが見込めないことや、後期高齢者医療制度や介護保険制度に対して国保事業の

当市の被保険者数の推移



当市の一人当たり給付額の推移



会計から支出しなければならぬ金額が毎年増加していることも要因です。

預金にあたる「国民健康保険給付基金」は全額取り崩しており、このままでは、来年度以降の運営が非常に困難になることが予想されています。

■税率改正の検討

こうした状況を踏まえ、来年度以降の税率改正についての検討を進めることにしました。検討は、「国民

健康保険運営協議会」が行います。

この組織は、国民健康保険の運営に必要な意見交換や調査、審議などを行うために設置されるもので、当市では、被保険者や保険医・保険薬剤師など十一名で構成されています。将来の医療費の伸びなどを勘案しながら、適正な税率についての協議を行っていきます。協議内容は、市報などで皆さんにお知らせしていくことにしています。

いきいき仕事人!

中村電機工業(株)山形工場

製造部 班長 渡邊 恵さん(下仲町)

高校卒業以来この会社にお世話になっています。主力生産品であるカーエアコン用レジスタ(抵抗器:電圧を変えて風量を調節する部品)の、スポット溶接(部品と部品をピンポイントで溶接)を長らく担当していました。そして2年前からは班長として、女性10名で構成される一つの製造部門のリーダーに任命されて現在に至ります。

リーダーに向いているとは全然思っていませんでしたし、とまどいもあったのですが、これまでの経験を基に、職場のコミュニケーションを大事にして部門全体として力を発揮できるように、自分なりに努力してきたつもりです。

受注の内容や仕様に変更が加えられたり、納期までの日数に余裕がなかったり、苦勞する場面も大変多いのですが、同時に班長としてのやりがいと充実した気持ちを感じているところです。

今後とも、お客さまのニーズに応えられるような製品づくりのため頑張っていきたいと思います。



○ Company File No. ⑦

○ 中村電機工業株式会社

- 昭和31年に愛知県犬山市で設立。
- 自動車用のエアコン、ヒーター向けレジスタ(抵抗器)専門メーカー。トヨタグループを中心に幅広い納入実績があり、レジスタの世界シェア10%を占める。昭和40年に新庄市金沢に山形工場を進出、以来、レジスタの製造拠点として操業中。従業員70名



将来を担う子どもたちの未来のため 産業人材育成の取組みにご協力を!

ものづくり企業のみなさまが持つ経験とノウハウを伝えることが、
ものづくりの楽しさと理解を深めるために不可欠であると考えます。
市では、次世代の想像力豊かで健全な人材の育成と、地域産業への理解を促進をするため、
「産業人材」育成の取組みに協力いただける企業を募集しています。

- **募集対象** 最上地域内の製造業企業
- **内容** 小学生向けのものづくり体験教室や発明教室を開催するにあたり、次のようなご協力をお願いします。
 - ◎発明クラブコンテストなどでの作品制作に関する指導・助言スタッフ(社員・社員OBなど)の派遣
 - ◎工作材料の購入費の資金提供や、製作に必要な工具などの貸出し
 - ※上記に当てはまらないようなご協力内容のご提案もお気軽にお申し出、ご相談ください。
- **地域社会貢献を通じた協力企業のメリット**
 - ◎製品や企業活動などに対する、地域での理解や認知度、企業イメージの向上
 - ◎地域産業を支える子どもたちの育成による、将来にわたる優秀な人材の確保
 - ◎子どもたちとのふれあいや指導・助言など日常の業務から得ることができない経験による、社員の資質や意欲の向上
- **協力企業一覧**(10月28日時点)
新庄自動車(株)・山形航空電子(株)・(株)ホソイ・ナカジマ(株)・(株)全晴



▲企業協力により実施した平成24年度商工見本市親子ものづくり体験教室の様子

募集要項など詳しくは、
市ホームページ <http://www.city.shinjo.yamagata.jp/10368.html> をご覧ください。
◎詳しくは、商工観光課企業立地推進室へ。☎内線259

10/12

いものこマラソン&健康ウォーキング

(山屋セミナーハウス周辺)

今年で17回目を迎えるこの催し。今回は、日新中学校と新庄中学校の学年行事で保護者を含む238人も参加し、総勢445人が、ウォーキングから11キロのマラソンまで、それぞれの体力に合わせた種目で汗を流しました。あいにくの天候でしたが、恒例のいものこ汁の振る舞いも行われ、参加者はスポーツと味覚の秋を楽しんでいました。



10/2

森づくり・森とのふれあい事業

(陣峰市民の森)

遊歩道への木材チップ敷きや階段整備などを通して、森林に親しみ、森林保全の意識を高めようと、みどり環境税を活用した森林環境学習会が、市内3つの中学校の1学年を対象に行われました。この日は明倫中学校の生徒116人が参加。生徒たちは、慣れない道具を使っの作業に苦労しながらも手際よく作業を進めていました。なお、10日に新庄中学校生94人が、また11日には日新中学校生129人も作業を行いました。



10/20

亀綾織ミュージアム”まゆこれ”

(新庄市エコロジーガーデン)

江戸時代、この地域の特産品として盛んに生産されていた絹織物「新庄亀綾織」。この織物をもっと多くの人に知ってもらおうと、1日限定のミュージアムが開かれました。歴史や織りの種類、和服・小物などの作品紹介をはじめ、トークセッションなども行われました。悪天候の中、300人ほどの来客があり、「地元のものなのに知らなかった」と驚いた様子で作品に見入る人もいました。



10/20

新庄市総合防災訓練

(萩野小学校ほか)

防災体制の確立と防災意識の高揚を目的に毎年実施している訓練が、今年は萩野地区を中心に開催されました。訓練には自衛隊や警察、消防本部など関係する組織や地域住民らが参加し、緊急速報エリアメールによる広報訓練から、ガス漏れ応急措置、水道施設の復旧、そして救助や消火訓練まで幅広い内容で、本番さながらに実施されました。



クリテリウム新庄大会で疾走する選手たち

(10月14日／市中核工業団地内特設コース)



新庄もみの木ライオンズクラブによる、コスモス教育週間ののぼり旗贈呈

(10月9日／市役所)



小学生から一般まで333人が参加した、新庄ロードレース大会

(10月6日／市陸上競技場)

10/19

新庄味覚まつり

(市内)

秋晴れの中、市内中心商店街を会場に、第6回新庄味覚まつりが開催されました。

金沢幼稚園の園児による「新庄味覚まつり宣言」のあと、芋煮や納豆汁、もつラーメン、山形牛、つや姫のおにぎりなど新庄の「んめもの(うまいもの)」が並ぶ会場内は多くの人でにぎわいました。また、しんじょうクラフトフェア、100円商店街、市民健康福祉まつりなども同時開催され、訪れた人を楽しませていました。



10/19

新庄の新たなおみやげコンテスト

(ゆめりあ)

当地域の農産品を使った新たな土産品を開発し、地域、そして農業を活性化しようとするコンテストが開催されました。県内から応募があった27点の試食品は、関係業界から選出された審査員10人により審査され、素揚げした大豆を甘辛く味付けた「おつ豆」が最優秀賞となりました。他の出品食品のアイデアも参考に今後さらに改良を行い、来年から、もがみ物産館などで販売される予定です。



10/27

第28回みちのく民話まつり秋語り

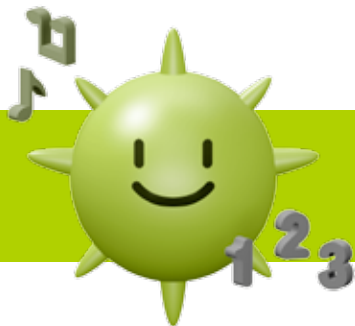
(旧矢作家住宅)

江戸時代の農家住宅「旧矢作家住宅」は約80人の観客で賑わい、新庄民話の会の会員がいろいろ端で民話を語り始めると、目を閉じて聞き入る人もいました。また前日には、「やまがた語りのつどい」が市民プラザで開催され、県内の7つの民話語り団体による語りのほか、東京学芸大教授の石井正己氏の講演や升形小学校児童による新庄囃子演奏が行われました。



戸沢藩が縁で今年から開催された「戸沢サミット」。来年は新庄市で開催されます。

(10月27日／茨城県高萩市)



プラス

子育て+教育チャンネル

調和のとれた育成を目指して

学校レポート
～日新中～

日新中学校では、全校生徒三百九十八名の知・徳・体・志の調和のとれた育成を目指し、三つを教育重点に掲げています。

＜学力向上プラン＞

生徒同士の〈学び合い〉を大切に、学習意欲やコミュニケーション能力、論理的な思考力の育成を図る授業を行っています。意見の交換を行うグループ学習では生き生きとした、いい表情を見せてくれます。

＜合唱力・ボランティア力向上プラン＞

毎年十月に行われる合唱コンクールに向かう生徒のエネルギーはすばらしいものがあります。合唱を創り上げる過程を通して生徒



＜体力向上プラン＞

同士の心のハーモニーを高めます。このほかにも、地域貢献学習などの体験的な学習を通して、地域や周りの人を大切にする心や、奉仕する心を養っています。



早寝早起き朝ごはんをスローガンに、家庭と連携して生活リズムづくり運動を実施しています。朝食の摂食率が九十二%を超えるなど、確実に成果が上がっています。加えて、昨年度校舎周辺に整備していただいた「ランニングロード」を活用して、校内マラソン大会を数年ぶりに復活しました。生徒全員の基礎体力向上・健康な体づくりに向けて日常的に取り組んでいます。



あそびの広場と子育て相談

わくわく新庄

11月19日(火)・12月3日(火)の午前

保健センター

11月26日(火)・12月10日(火)の午前・午後

萩野地区公民館

11月8日(金)の午前

※午前(10時～11時30分)、午後(1時30分～3時30分)

わらすこワンダーランド

11月16日(土)午前10時～午後2時

※わらすこ広場無料開放日です。

◎詳しくは、新庄市子育て支援センター(わらすこ広場内)へ。TEL & FAX22-5115

にこにこ子育て

Q

A

Q 2歳の男児ですが、他の友達のおもちゃを取ってしまい、仲良く遊べなくて困っています。

A 2歳前半の頃は、なんにでも関心がある時期です。

欲しがらだったり、自分でやりたい気持ちが強いのので自己中心的な行動が多くなります。

友だちのおもちゃを取ったりした時は「これは○○ちゃんのだよ」としてはいけないことを繰り返し伝えていきましょう。

また、この時期は好奇心が強いこともあって、危険な行動をしまうことがあります。その時も「危ないよ」と同じように伝えるようにしましょう。

親にとっては困ったりする場面も多い時期だとは思いますが、大切な成長の一過程です。根気よく伝えていきましょう。



金沢地域町内会連合会 寺子屋式「金沢塾」

金沢地区では、金沢一から七と幸町、金沢新町、玉の木町および玉の木新町の十一地区で地域の発展を目的に「金沢地域連合町内会」を組織しており、その連合町内会の事業として「寺子屋式『金沢塾』」を開塾しています。

十月十三日(月)、三回目となる金沢塾を実施しました。

午前は「金沢地域の宝探しラリー」で四十名の参加者が地域内の神社仏閣の歴史探訪を行いました。

柳の清水、円応寺、金沢八幡神社、福金稲荷大明神、金沢不動尊、接引寺を徒歩で散策し、新庄城下の金沢地区に寺社を配した理由の説明を受け、その歴史に思いを馳せました。

午後は接引寺を会場に「天災犠牲者追善供養、お寺でする音楽会」を行いました。



▲「天災犠牲者追善供養、お寺でする音楽会」の様子

演奏は菅紀子さん(フルート)、鈴木布美子さん(ピアノ)、鈴木信哉さん(チェロ)、そして佐藤美喜子さん(ソプラノ)です。

曲目は「翼をください」、「赤とんぼ」、「私のお父様」など、懐かしい唱歌から映画音楽、オペラまで、寺の本堂で聞く音色はまた格別なもので、八十名の参加者を魅了しました。

入場料は無料とし、チャリティーコンサートとして実施し、多くの善意が寄せられました。

これらの事業は、新庄市地域づくり推進交付金で実施しています。

◎総合政策課地域支援室
☎内線2118

今月の司書NAVI

毎月図書館司書がおすすめの本を紹介します！

◎市立図書館 ☎22-2189
開館時間：午前10時～午後6時
休館日：毎週月曜日



蔵書検索



私の
おすすめの1冊

『ナルニア国物語』全7巻 C.S.ルイス／作(岩波書店)

当時小学校6年生の私が学校の図書室で大親友に教えてもらった、ライオンの姿をした(!)偉大な王・アスランが治める不思議で素晴らしい世界の物語です。

ナルニア2,555年間の壮大な歴史上を、私たち人間世界の子どもたちが様々な時代に飛び、多様な種族の仲間と国の危機を救い、彼ら自身も遅く成長して自分の世界に帰る姿に、大人になった今も強く勇気づけられます。

2006年より計3作品が映画化され、親友と一緒に20数年ぶりのアスランたちとの再会を喜び合いました！

図書館インフォメーション

今月のテーマ展示

『わくわく! コラボ』

ドラマや映画の原作で映像との違いを楽しみ、人気作家たちの短編集で普段読まない作家と出会しましょう。



今月のイベント

第2回

ライブラリーシアター

- とき 11月24日(日) 1回目／午前11時～正午、2回目／午後3時～4時
- ところ 市立図書館
- 内容 子供向けDVD上映会、『にやーご&プタくん100ぴきのおおかみ』みやにしたつや、『まめうしくん』あきやまだし

●今月の新着図書●

【一般書】

恋しくて……………村上 春樹、アリス・マンロー他
検事の死命……………柚月 裕子
どうぼく方言の泉 上中下……………小林 隆 他
ぐりとぐらのてづくりブック……………福音館書店編集部
スーパージャでつくる感動レシビカタログ…井原 裕子
くらげ LOVE111……………平山ヒロフミ
コレステロール対策のベストアンサー
……………「ここが聞きたい! 名医にQ」番組制作班
こけし……………やまもと ゆみ

【児童書】

ラッキーとの日々 東日本大震災・愛犬と家族の絆
をつづった手紙……………さとう なつき(真室川町在住)
まちにはいろんなかおがいて……………佐々木マキ

お越しください 第16回泉田フェスティバル

■とき 11月17日(日)午後1時から
■ところ ゆめりあ花と緑の交流広場 ■出演 泉田保育所、泉田小とんと昔クラブ、泉田小ダンスクラブ、泉田囃子若連、塩野民謡会、つけもん、表現遊びサークルちやれんこ、萩野中吹奏楽部、泉田小6年生 ※入場無料

◎泉田フェスティバル実行委員会事務局
川又 ☎090-17328-2830

所得控除の対象となります 国民年金保険料について

平成25年中に納めた国民年金保険料は、全額が社会保険料控除として所得税や住民税申告の控除対象となります。日本年金機構から控除証明書が送付されますので、確定申告などの際に提出してください(平成25年1月から9月までに納付し

「夜間・土/日」の納税相談窓口 開設のお知らせ

市税の納付について相談をお受けします。
■開設期間 11月29日(金)～12月2日(月)
■受付時間 平日 午後5時15分～7時30分
土日 午前9時～午後4時
■場所 市役所1階 税務課納税室
◎詳しくは、税務課納税室へ。☎内線150・152

県立新庄病院休診のお知らせ

県立新庄病院では12月1日(日)から電子カルテを導入します。この準備のため、外来診察が休診となります。
■とき 11月29日(金)
◎詳しくは、県立新庄病院へ。☎22-5525

ナラ枯れ枯損木にご注意ください

ナラ枯れの被害を受けた木は、非常に倒れやすくなっています。風の強い日などは、被害木に近づかないよう十分注意してください。また、ナラ枯れの被害地では、猛毒キノコ「カエンタケ」の発生が確認されています。触れるだけで皮膚がただれる事がありますので、ご注意ください。
◎詳しくは、山形森林管理署最上支署へ。☎62-2122

農業用プラスチック・ビニール回収

日程はすべて11月中で、回収料金は1kgにつき43円(消費税込)です。
■日程 ①19日(火)午前9時～11時(JA新庄市東部ライスセンター)、午後1時30分～3時(JA新庄市仁間倉庫前) ②20日(水)午前9時～10時15分(JA新庄もがみ昭和支店前)、午前10時30分～11時(JA新庄もがみ塩野倉庫前) ③21日(木)午前9時～11時、午後1時30分～3時(JA新庄もがみ萩野支店前)
◎詳しくは、農林課農林振興室へ。☎内線269

■相談電話 0120-154-052(フリーダイヤル) ※相談無料
◎連合山形 柏木
☎023-625-0555

指名手配被疑者 検挙にご協力を

警察では、総力を挙げて指名手配被疑者の検挙に取り組んでいます。検挙には皆さんの協力が必要です。平成25年8月現在、約830人の被疑者が全国の警察から指名手配されています。「ポスターに似ている人を見かけた」など、どんなことでも構いませんので、110番または最寄の警察署や交番などへ通報をお願いします。

◎新庄警察署
駅前交番 ☎22-0110
☎22-7563

お気軽にご相談ください お金のトラブル何でも無料相談

■とき 11月30日(土)午前9時30

多重債務者無料相談会

地元弁護士、司法書士が対応します
※事前予約が必要
市役所市民相談室会場
■とき 11月25日(月)午前10時～正午
■予約電話 22-2111 内線126
最上消費生活センター会場
■とき 11月28日(木)午後1時～3時
■予約電話 29-1370
◎詳しくは、市民課市民相談室へ。
☎内線126

分午後3時 ■ところ 市民プラザ3階 第5研修室

■相談内容 多重債務や借金問題、遺産相続問題、高齢者などの財産管理問題、訪問販売によるトラブルなど ※予約は不要です

◎日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 佐々木
☎090-7066-0187

募集します

自衛官等募集

高等工科学校一般

■募集資格 男子で中卒、17歳未満の者 ■受付期間 11月1日(金)～平成26年1月10日(金)
■一次試験日 平成26年1月18日(金)

高等工科学校推薦

■募集資格 男子で中卒、17歳未満の者(学校長推薦)
■受付期間 11月1日(金)～12月6日(金) ■一次試験日 平成26年1月11日(土)～13日(月祝)のうちいずれか1日

うめ本
さん
ボディコンディショニングスペース
SORA
はり・きゅう
新庄市末広町14-62コーポビル1-D
受付時間 9:00～19:00(火曜定休)
至新庄駅
お問い合わせ、ご予約は TEL 0233-32-0663 代表 海藤直子

基礎から身につけ
優雅に楽しく
踊ってみませんか?
林田ダンススクール
無料体験レッスン実施中
■個人レッスン
●月曜日午後6時まで
●水・金曜日午後9時30分まで
●日曜日も営業しています
■団体レッスン
●水曜日午後8時から
※火・木・土曜日は鶴岡スクール
鶴岡 ☎0235-22-3585
新庄教室 新庄市千門町4-18 ☎29-2812

催しなど

今年最後のkitokitoマルシェ

- とき 11月17日(日)午前10時～午後3時
- ところ 新庄市エコロジーガーデン
- 内容 こだわって手づくりした農産物、加工品、雑貨の販売。飲食コーナーやワークショップなど
- ◎詳しくは、商工観光課へ。 ☎内線249

産直まゆの郷「収穫祭」

- とき 11月17日(日)午前9時～午後6時
- ところ 産直まゆの郷
- 内容 秋野菜・惣菜・漬物・花の販売など
- ※先着200人に新そば試食サービス
- ◎詳しくは、産直まゆの郷へ。 ☎23-5007

市民プラザから各種料理教室のお知らせ

いずれも場所は市民プラザ調理室で、エプロン・三角巾をお持ちください。

夕食料理教室

- とき 12月1日(日)午前10時～午後1時
- 内容 花ざし作り ●講師 笹原幸子氏
- 参加費 1,000円 ※定員 一般成人15人

イタリアン料理教室

- とき 12月4日(水)午後6時～9時
- 内容 クリスマス料理 ●講師 栗田晋史氏
- 参加費 1,500円 ※定員 一般女性15人

親子で創作ケーキ作り ※託児相談承ります

- とき 12月8日(日)午後1時～4時
- 内容 創作ケーキ作り ●講師 鮎川ゆき氏
- 参加費 1,500円 ※定員 親子12組
- 年中から小6までのお子さんで内履を持参ください。
- ◎詳しくは、市民プラザへ。 ☎22-4200

わくわく新庄からのお知らせ

わくわく新庄健康講座

- とき 12月6日(金)午前10時～11時30分
- ところ わくわく新庄会議室
- 内容 高齢者の心と体の健康管理
- 講師 井瀨安雄氏(最上保健所長)
- 受講料 無料 ※定員40人
- 申込締切 11月29日(金)まで

クリスマスオブジェ手作り教室

- とき 12月14日(土)午前9時30分～午後12時30分
- ところ わくわく新庄創作実習室
- 内容 自然素材でオリジナルオブジェ作り
- 講師 鈴木信夫氏(木ら木ら星)
- 材料費 2,800円 ※定員20人
- 申込締切 12月6日(金)まで
- ◎詳しくは、わくわく新庄へ。 ☎23-0197

JA産直いなふね開店2周年感謝セール

- とき 11月17日(日)午前9時30分～午後6時
- ところ JA産直いなふね
- 内容 旬野菜や花、農産物の販売など
- ※柿つき餅の振る舞いや先着200人に粗品プレゼントなど
- ◎詳しくは、JA産直いなふねへ。 ☎22-4928

のほか、友情展示として渡辺博之

陶芸展のお知らせ

羽前最上焼 秀年一門現代陶芸展

- とき 11月20日(水)～27日(水)午前10時～午後4時
- ところ アトリエ・山形現代美術館(新庄市)

■内容 陶芸作家による作品展示のほか、友情展示として渡辺博之

◎県労働局労働基準部賃金室

☎023-624-8224

山形県最低賃金

10月24日(木)から山形県の最低賃金が改正されました。

■最低賃金 665円(一時間)

この最低賃金は、県内で働くすべての労働者に適用されます。

改正のお知らせ

☎22-5057

※募集説明会を実施します。
■とき 11月22日(金)午後1時～7時
■ところ ゆめりあ2階会議室
◎自衛隊新庄地域事務所

創業支援セミナー

■対象 創業を目指す人、または創業してまもない人 ■とき 12月6日(金)午後1時～午後5時10分
■ところ 大地会館
■内容 「創業のノウハウ」ほか創業者の事例発表など

◎新庄商工会議所 ☎22-6855

募集のお知らせ

市営住宅入居者募集

■募集住宅名・戸数 ①玉の木団地 6戸 ②東山団地1戸 ■家賃 ①9,300円 ②22,300円 ②16,400円 ②4,500円

■申込資格 次のいずれにも該当する方・現在住宅に困っている・同居親族がいる・収入の基準が合う・税金の未納がない・暴

☎023-630-2846

婿養子さん希望女性限定 ラブアクション2013

■とき 12月8日(日)午後1時～6時
■ところ 新庄ニューグランドホテル
■参加費 男性4,000円 女性3,000円 ■定員 男女各

力団ではない ■申込期間 11月15日(金)～22日(金)午前8時30分～午後5時15分 ※21日(木)～22日(金)は午後7時まで。 ■内覧会 11月20日(火)午前11時～午後3時
◎都市整備課建築住宅室

☎内線522-524

地域の課題を地元議員が審議 第2回最上地域議員協議会

■とき 11月19日(火)午後1時から
■ところ 最上総合支庁講堂
※傍聴を希望される人は、当日会場でお申込みください

◎県議会事務局政策調査室

10人 ■申込締切 11月25日(月)
◎最上広域婚活実行委員会
☎080-8216-8684

ご協力ください

平成25年度住生活総合調査

11月21日(木)から12月10日(火)までの間、統計調査員証をもった調査員が、対象となった世帯を訪問いたします。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■調査基準日 12月1日(日)

◎都市整備課建築住宅室 ☎内線523

参加者募集

みんないっしょ 親子でスポーツ

■対象 未就学児・小学校低学年
■とき 12月1日(日)午後1時～午後3時30分
■ところ わくわく新庄多目的ホール ■内容 色々なスポーツをスタンパラー形式で体験

◎新庄市地域子育て支援センター ☎22-5115

この時期、体調をくずしやすい!?
冷え性が、年々ひどくなってる気がする...!

【当店おすすめの漢方薬】
ソウジン
『双参』におまかせください!

※生薬(人參+五加皮)の力で体の芯から温まり元気になれます。
—— お気軽にご相談ください ——

(有)フレンス薬局 新庄市鉄砲町6-3 ☎(23)2722
フレンス調剤薬局下田店 新庄市金沢2397 ☎(28)8370

土・日も営業
カイセイ デイサービス

「お泊り」できます

栄養士の献立による 庭を見ながら リラクゼーション
美味しい食事 お風呂 ウォーターベッド
マッサージ

新庄市末広町7-4 (荘内銀行新庄南支店あと) ☎29-2912



MEIRIN の“M”



故きを温ねて新庄を知る

温故知新庄!?

ホームページでさらに詳しい
取材記を掲載しています。



藩校明倫堂

県内の新制中学校は、昭和二十二年五月三日に、一斉に開校しています。

明倫中学校は、少し遅れて、昭和二十七年四月一日に、千六百名を超える生徒数だった新庄中学校から分離して第三中学校の名称で開校し、四月十五日には、公募により選ばれた明倫中学校に改称されています。

明倫とは、中国の儒学者孟子の教え「学は則ち三代これを共にす。皆人倫を明らかにする所以なり。」から採られたもので、「学問は人間の生きるべき道(正しい秩序と道理)を教えるものだ。」という意味があります。徳を重視して生きる力を育むという現在の教育に通じるものがあります。

この明倫という名称が選ばれた背景には、新庄藩の藩校の名称が「明倫堂」だったということがありそうです。

文字を
見やすく
しました

本文にモリサウユニバーサル
フォントを使用しています。